...市價 元百六吊百至六三吊一百
...價錢五吊四百文至五吊
...共上車三十餘輛
...東共來七十餘輛
元四六吊九百至六吊八百

一 七九半紙 仝 一圓八十錢
一 連紙 一連 一圓
一 フールスカツプ 仝 四圓
一 中判洋紙 仝 二圓
一 半紙 百枚 二十錢
一 卷紙 四十枚續 十四錢

一 仝三組 ... 一圓五十錢以上...
一 椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一 簞笥 三十圓以上三十五圓
一 卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一 卓子掛 六圓以上十二圓
一 厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一 縞毛布 一枚 四圓以上六圓五十錢
一 長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一 箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一 宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

特別廣告

◀資本金貳千四百萬圓
◀積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

千珠丸 仝十五日横濱行
竹島丸 四月廿日 大沽、芝罘、長崎 門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告

日勝丸 四月十六日門司四日市行
日海丸 近日入港
賴朝丸 近日入港

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール
スペシャル、ライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞 此本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印井其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋綫鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

運搬特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋粟身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撓利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸君欲購者請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 賴朝丸
專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井 電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

生徒募集

營口瀛華實學院 招入學生

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

（周）東清鐵道 裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

材木 荒物 販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號小野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尙其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
綏定門街第五〇 營口英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號） 小島榮歲

上海 中井洋行 專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張り本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

●雜貨卸小賣商
●菓子製造販賣商 附日用食料品
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

新民府孫家街 東洋號

齒科名醫到營

治療齒痛之法爲衞生上必要之一端固未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余嘗深以爲憾頃二三志士特請居留天津之齒科名醫田添豐三君來營即在舊高田洋行內從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否茲不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈
營口有志者白

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

啓者有遼陽聚豐隆在遼買東升廣會票一張計廣字元號聚豐隆名下營平銀壹仟零柒拾兩正係營口永遠興照付又買天和福一張字字一百六十二號聚豐隆名下營平銀伍佰參拾伍兩係營口廣順機照付又遼陽廣興義托聚豐隆客人王輔臣帶來營信內附會票一張在遼買公立公司公字二號泰峯鎮名下營平銀壹仟零柒拾兩係營莊匯源達照付以上會票於清曆三月初九日由遼陽乘火車赴營晚一點鐘行至牛家屯東在火車內被匪人切去並失去手票爲此聲明無論落在何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報勿謂言之不預也
淸曆三月十二日

遼陽 廣興義 聚豐隆 二家 仝啓

告料 一ヶ月以內 ...錢十五...
一長期連掲減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

東京電報

●長岡子爵の葬儀　去る八日薨去せられたる長岡子爵の葬儀は來る十八日に執行せらるへし

●伊國慘狀と御親電　伊國噴火の慘狀につき陛下には十二日伊國皇室へ懇篤なる御見舞を御親電あらせらる

●樞密顧問官親任式　本日宮中にて清浦奎吾曾根荒助二氏の樞密顧問官親任式を行はせらる

●統監の觀兵式參列　伊藤統監は凱旋大觀兵式參列の爲め歸朝せらるへし

●露公使の國書捧呈　今回新に着任せる露國公使バクメチエフ氏は十八日參内陛下に謁見親任狀を捧呈する筈なり

●内田公使の歸任期　内田公使は十五日頃北京に歸るべし

●萩原總領事の赴任　萩原總領事十六日東京發北京に到り來月中旬任地着の豫定なり

●陸軍大學の擴張　陸軍大學學生の數を增加し擴張せらるべし

●戰功新授爵者數　戰役に關し新に授爵せらるゝ文武官約五十餘名なり

●東郷軍令部長の兎狩　東郷軍令部長には十三日より三日間福島縣矢吹御料地に兎狩仰せ付けらる

●内田公使歡迎　北京内田公使は漢口張之洞を訪ひ盛大なる歡迎を受けたり

（以上四月十三日發電）

●落合少將歸任　落合少將は今日出發歸任せり

（四月十三日午後零時十分發）

●鐵道技師の出發　鐵道技師野村龍太郎氏は滿洲鐵道に關する用務を帶ひ一兩日中に出發す

（四月十三日午後零時十五分發）

●經營委員の滿洲行　若槻大藏次官酒田農務局長山座政務局長等は一兩日中に東京を出發して滿洲に向ふ事に決定せり

（四月十三日午後二時三十五分）

北京電報

●戶部の顧問聘用　戶部改革の爲め米人ジエンクス博士戶部顧問と爲らん

●佛公使の鐵道視察　佛國公使は五月雲安地方に到り鐵道狀況の視察を爲

す筈

●清國委員の引籠　露清談判委員唐紹儀風邪の爲め引籠中

●奉天安東開放の期　安東縣は五月より奉天は六月より開放せらるべし

（以上四月十三日發電）

雜報

●大連の諸關係を論す（一）　大連　柳披散士

（一）緒言

大連の將來に就いては遼東新報にて概論せり予は更に大連と諸種の關係事情を說き讀者をして大連市の概念を知得せしめ且つ識者の示教を仰かんとす斯く執念深く大連問題を云々するは流行語を使用する譯にもあらす奇異の說をなすにもあらす只我國の滿洲經營の發達は先つ大連より始まり漸次北進し東西に波及するの勢を呈するあるを以て商業地として深く我國に關係ありて尤も古き歷史を有する營口を研究せすして大連を研究せんとはするなり既に大連と諸關係とある以上は大連を中心として或は山東角と遼東半島の關係各列島と渤海の關係より大連と營口若しくは我國と滿洲との關係等に至るまて極めて廣濶なる部分にまて侵入して管見を語らんとす從つて秩序的に小關係より漸次大關係に及はすか如く一律に綜合する能はす思へ出るまゝ各題目に別ちて片々に叙論せんとす

（二）大連と戰時の關係

戰時に當りて最も大影響を蒙るは鐵道船舶貿易の三大事業なり今日半熟だもせさる大連は兎に角にも將來の大連が戰時に際して大打擊を受くるは最も明白なる事實なり今回の戰役に當りて海陸軍共に此大連が如何に重要なりしかは當事者ならすとも察知する所ならん「若し大連にして我手に歸せさりしならは」と此一警句か如何に吾人の耳朶を打つかよ「噫若し大連にして永く敵國の掌裡にあらはよ」と想起しては寒心に堪へさるなり元來露國の大連經營は實に平和的大商港たらしむるにありて毫も戰爭を豫想して武裝したる形蹟なく旅順口を軍港要塞となし大連の防禦を司らしむ然るに一朝干戈を執りて起つや大連の大築港は早くも我國の手に委す茲に於て我國は此大港を遺憾なく使用して戰時海陸軍の根據地と爲し却つて武莊せる旅順を包圍攻陷せり大連防禦の事は別に大連旅順の關係の題にて細論す可きも要するに露國か旅順大連の地理關係か我國の横濱橫須賀の如き地形にあらすして各防禦方案を異にせさる可からさるを閑却したるか爲ならさるなし

露國大連防備の不完備は我國の乘する所なり占領後其大埠頭より土地家屋倉庫鐵道に至るまて悉く軍用に供して百万の大軍給與缺乏を來たさゝるを得せしめたり然れと將來大連の發達と繁榮は人口增加物資の集注熾なるに至り戰時に際して港灣棧橋鐵道其他を悉く軍用に供するか如きは到底不可能なるのみならす海陸運輸力の減殺は大連市の經濟上大動亂を喚起するならん故に商港として平時の設備經營は急務なりと雖も一面は非常の變に際しての防備と設營を顧慮して戰時における大連市經營上の動亂を豫防して能く今回に倍蓰するの軍隊の兵站基地たる本能を全ふするの覺悟なかる可からす大連の經營者は單に平和商港としてのみの設計を爲し第二の露國たるの悔を遺す勿れ平時戰時の大連關係は我か滿洲經營の政策反響なれは我國の政治家軍人商工業等深く慮りて廣く相謀り誠實に經營し我國民か發展せんとする滿洲の門戶たるに愧さるの經營を爲さゝる可からす豈に夫れ大連一市の經營として忽諸に付す可けんや

●吉林雜觀（一）

▲豐かなる吉林

滿洲は北に往くほど面白味があるとは旅客の異口同音に談ずる處なり面白味があるとは旅窓の愉快を意味するにあらずして實に商業上礦業上軍事上種々研究を要するとの意味に外ならず研究を要するとは失望の謂にあらずして多望の謂なり前途を望むに洋々たればなり遼陽よりも鐵嶺に鐵嶺よりも長春に長春よりも吉林に多大の趣味あるは北遊旅客の等しく首肯する處ならん來る八九月頃を以て邦人の來往を看るべき吉林の近況は苟も滿洲に居住する邦人の最も熱心に注意する處ならんイデ豐かなる吉林に就て少しく語る處あらん現時吉林省城の街巷は其數百二十七東西南北に貫通するを大街と爲し悉く尺餘の角材を敷詰めたる木道あり道の兩側は深さ八尺餘巾五尺の大溝渠ありて不潔物を収容し其街路の坦にして清淨なる之を他の都會に看るべくもあらざるなり人口は最近の調査に據れば男女合計二十七万八千七百五十六人にして實に滿洲第一の大都會なりと爲す啻に人口に於て滿洲第一なるのみならず其富に於ても亦滿洲第一なるもの丶如し老牛家なる富紳あり全滿洲第一の長者を以て稱せらる其外老伊家あり老金家あり老莊家あり老傳家あり孰れも數千万若くは數億の財産を有する大富豪なり老伊家の如きは城内に三十餘の店舖を有し之に各地の店舖を加ふれば百以上の商店を設置し居れりと亦以て其商業の盛大なるを想像するに足らん名詮自稱吉林は吉林なり山林に依つて土地榮え材木商賣に依つて市街繁昌す云ふ迄もなく省城第一の商賣は材木と爲すべく次に毛皮藥種綢緞雜貨商等なりとす其店舖の宏壯なる其取引の盛んなる驚くべきものあり一言にして云へば吉林は豐かなる都會なり土地豐かに民豊かに風景亦豐かなり豐ならざる南滿洲に窮居せる邦人は此豐かなる地方に蟠居する覺悟なかるべからず（一樓客）

●故長岡子爵の葬儀　子爵長岡護美氏か去る八日病を以て遂に薨去せられたるとは我東電の既に報道する所の如くなるか子爵は生前故近衛公と共に華胄の雙絶として東亞問題殊に清國風氣の開發に關し貢獻せるの力決して尠少にあらす彼の東邦協會を設立して東亞問題の考究に資したるが如き彼の東亞同文會か今日の盛運を致せるか如き最も子爵の力を與りて大なりとすへく我邦か今後益〻亞大陸に向つて大發展を試むへき千歲の好機に際し圖らすも其訃を聞く哀悼何そ堪へんや聞く子爵の葬儀は來る十八日を以て最も莊重に最も嚴肅に東京に於て行はるへしと想ふに當日の盛儀や以て今より刮目に値すへしとせんか在滿洲人は邦人と清人とを問はす直接間接に子爵か高風に薰化せられし者極めて多々屆時亦各〻相當の弔意を表する所無か可らする

●滿洲の赤十字事業　赤十字事業は日露戰爭によりて最も顯著なる功績を表はし隨ひて滿洲に於ける我赤十字事業は極めて良好の狀態に在り現下在滿洲の新加入者は合計四千二百七十九人の多きに達し内本邦人六百七十九人清國人三千六百零三人にして清國人の殆と本邦人に六倍せるは最も注目すへき現象とす而して營口に於ける同社員數は本邦人十九人清國人三百十三人にして他地方に比し其人員に於て左迄多しとせざるも全滿洲に於て有功社員（一時に千圓以上即納の者）三名は悉く營口在住清人（王仁堂、葉亮卿、王謹）にして特別社員（一時に二百圓以上即納の者）一百人中（内十一人は本邦人）四十三人は營口在住清人なるは是れ亦注目に値すへき現象と爲す

●昌圖四平街間鐵道　昌圖四平街間百四十清里の鐵道は本月中を以て我手に引渡さるゝ筈なるが此間の線路は露軍退却の際橋梁を燒棄し軌道を取外し或は堤防を破壞するなど百方亂暴を働いたるが故に全然新築工事を起さゞる可からず爾れば我手に受領するとしても滊車の開通を看るは近きにあらざるべし現時露兵の四平街に駐屯せるもの約一個中隊なるが彼等は其撤退の近づきたるを以て今や器具を後送し專ら撤退の用意に從事するもの丶如しと

●陶大均氏の老練外交　驛巡道陶杏南觀察は赴任以來孜々として政務を整理しつゝありしが趙將軍も大に陶氏を信賴し氏をして驛巡道の外に交涉局長商務局長工務局長等の要職に居らしめたり陶氏は交涉局長に就任するや老練圓熟なる手腕を揮つて專ら日清和親を計り今や奉天及各地に於ける日清間交涉事件は何れも平和に解決されたり陶氏の外交に老練なる敬服の至りなり

●黑澤副稅務司の歸朝　黑澤副稅務司には今回賜暇を得て四五日中出帆歸朝の途に上るへき筈なるが恰も凱旋大觀兵式に際するを以て特に同式に參列仰付らるへき光榮を得へしといふ

●佐藤寛次郎氏の歸營　結氷と同時に地代理店を引揚げ歸朝中の郵船會社出張員佐藤寛次郎氏は一昨日歸營せり

●大連彩票當籤　大連にて昨十三日第四回彩票抽籤を行ひたるが第一等より第三等に至る當籤左の如し

頭彩	一、八八五七
二彩	一、二八一六
三彩	九二九五

●人物月旦　松倉善家君（下の上）　覆面郎

松倉善家氏の初て商業に從事せしは明治二十七年也、先是彼は上海に於て荒尾宗の大學校、日清貿易研究所に在り、燕趙悲歌の士を以て任し覇氣橫溢して三更夢覺めては、風蕭蕭兮易水寒壯士一去不復還を口吟し、豪快粗暴、放縱唯た意に任せ、誠に學生中の餓鬼大將たりしか明治廿六年研究所を卒業するに於て同窓にして同鄉の親友たる深水、緒方等の二三氏と急速以て旅裝を調へて歸朝し、鄉里熊本に於て資本家を歷訪して誘說甚た努め遂に其の二三人を說伏し同本末資本金十萬圓を以て一の株式會社を設立し名けて日清貿易東肥株式會社と稱し、熊本に本店を大阪上海及ひ漢口の三個所に支店を開設し、岡崎唯輔氏を以て社長と爲し下田中村其他一二名を監査役に推選し、而して彼は上海支店長として翌廿七年再ひ上海を見舞へり、即ち之れ彼か商戰塲裏馳驅すへき初軍の門出にてありたる也、彼の未た研究所に在り將に卒業に垂々たる時、荒尾所長は一日彼を其室に招き問ふて曰く、『我に一万の資本あり足下は能く之を商業の爲に運用する者なるや如何』彼れ平然として答へて曰く、『損益は時の運也固より能はさる者に非す』所長莞爾として笑ふて曰く談何ぞ爲れぞ夫れ容易なるや更に又謂ふて曰く「砲煙塲裏の龍鬪虎擊は足下に期待するに足る可しと爲すとも商戰塲裏の賣買掛引は他に其人あらん之を足下に托するは蓋し危險也』彼の在學時代に於ては否な其の卒業前迄は、所長と雖も彼を見る猶は斯く復た何人と雖も彼か將來商海に遊泳する者の如くに想像する者は非りしとす、於是乎、彼の日清貿易東肥株式會社を設立し上海に支店長として愈々上海に於て商業に從事せるを見聞せし同窓の友人は勿論、當時の知人は孰れも事の意外に呆れさるはなかりき、蓋し彼の日清貿易東肥株式會社の設立は其の知人仲間に於ては晴天の霹靂たりしなり、知らす彼は如何なる動機に依りて斯の如く豹變せし者なりしか案するに日清戰役以前に於て清國の事業界に奔走し其の貿易事業に從事せし邦人は其數甚た多からさりき、即ち之れ清國の事情の未た我國に明瞭ならさりしと同時に我國の勢力の尙は清國に微弱なりしか爲ならさるへからす、換言すれは當時に在り清國に於て營業に從事するは、一方に於て危險の豫想を必要とすると同時に更に一方に在りては非常の決心を必要とせしか爲のみ、夫れ然り其少きは當然也松倉氏か斯の如き時代に於て莽然として清國に商業を思ひ立ち豹然として目的を變更したるか如何たる動機に原因する者なるかは暫く之を云はす、松倉氏は商業家にして商業家に非す、唯夫れ松倉氏は商業家にして商業家に非す、故に危險も目して危險と觀るに足らす、不安も觀て不安と目するに足らす、豈に啻に危險も目して危險と觀るに足らす、不安も觀て不安と目するに足らさるのみならんや、危險は彼に於ては寧ろ愉快に値し、不安は彼に於ては寧ろ面白味を覺へしむ、而して若し夫れ其の利益に至ては一段に多く見積らる、利益は普通より一層多量に映し、危險は愉快に値し、不安は反つて面白味を覺ふ、商人となるの動機一度到來せんか、即ち雀躍して其業に從ふは寧ろ當然と謂はさるを得す、彼か貿易の有望を想像し、資本家の誘說に努力し、事業の經營に熱心し、賣買の取引に從事せし等、蓋し皆な商業家にあらすして商業家なりしか爲めならさるへからす、

夫れ當時の如き國家の利益より觀察すれは實業家は一日も早く將た又一人も多く渡清して以て事業を計畫し、日本の利益線を擴張せさる可らさるの時機には非る無かりしか果して然らは、彼の如き寧ろ甚た有要の商業家と謂ふて可也、松倉善家氏の三度目的を變更して商業家を志望し、愈々營業を開始し、取引に從事するや、未た幾何も非すして日清の國交破裂して兩國は砲煙の間に相見へて雌雄を爭ふ事となり、殺氣紛々として人心甚た穩ならす、於是乎彼は取引を中止して再ひ歸朝せしか、陸軍省は彼か日清貿易研究所の出身にして清語に付て修養あるの故を以てして、清語通譯に徵發し、彼は陸軍通譯官の名目の下に、篋底の日本刀を引出して腰間に帶ひ肩を聳かして從軍し、料らすも當年の理想塲裏に馳驅し、壯士一去不復還の抱負を實地に演するの身となれり、假令身は商人なりと雖も嘗ては三軍を叱咤せん事を希望せし壯漢なりしたるか、心中の喜悅想像すへし、莫逆爾來彼は旅順に威海衛に將た臺灣に軍に從ふて各地に轉戰したるか、腰間の秋水鳴ッて復た止ます、即ち時に或は自ら陣頭に走せて腕を試みるなとの事あり、遂に人切の幕内に於て人切松倉を以て稱へられ、不思議の通譯官を以て目せらるに至れるも奇と謂ふへし、

●三日月樓主の美擧　總じて旅館料理店の亂方とか張り方とか云へば十中八九迄は無教育の無賴漢にして物の道理を辨へたるものいと少きに茲に料理店の龜鑑とも云ふべき奇特の美談をいふは永世街三日月樓主なる原籍廣島縣佐伯郡嚴島町喜田遷之助と云ふ者にして彼が半生は商人として何か實業を營まんとて種々考案中計らず彼がを以て經過し當地に來りたるは卅七年一月にして日頃懇意にせる友人が現在の料理店を開きゐたるを或事情の爲め止むを得ず引受けねばならぬ仕宜となりて今日迄經續しつゝあり然るに彼は無論此道には經驗なく一時は非常に困難したるも兎や角と日を送り常に婦女を愛兒の如く慈しみ婦女等が幾等賤しき家業をなすとはいへ行儀作法は勿論手紙の一つも書けぬ者多きを常に憂い責めてはいろは四十七文字位は書けねば不自由也とて種々說き聞かせ毎日一定の時間を以て習字算術裁縫等の教授をなし今は一丁字もなき者迄親元に出す手紙の上書をスラ〳〵と書き得る事と也尙それのみならず此社會に有り勝ちの買喰の如は非常に嚴禁し稼ぎし金は總て每月貯蓄をなさしめ或は親元に送金する事を勸め只管善き導をなし居れば婦女等も今は大に其處置に感じ未だ一回も喧嘩口論をなしたる事なく又他に轉じたる者もなく至極睦まじく一家和氣靄然として暮し居るとは實に奇特の至りと云ふべし

汽車發行

▲上行車時刻表

車站名	開車午 點分	到午 點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五

▲下行車時刻表

車站名	開午 點分	到午 點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、一〇	下五、四一
北京至塘沽	下一二、四〇	下八、三〇

梅毒婦人科
外科胃腸病
專門日本醫院

稅關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
日本郵船部、回漕部

諸鐵工製作
鑛山 船舶 機械 鐵工 鐵道 附屬 鐵工
營口
川 鐵工

天氣
營口地方天氣豫報
自十三日午後六時至十四日午後六時
南の風晴れ

小説

新作小説 おとし胤　徳田秋聲

（三十六）

「工夫と申しましても、格別好い智慧ではございません。園遊會の最中に、那女が怜悧ぶツて居りますところを、皆樣の前で赤耻を搔かせて遣らうかと思ふのでございます。然うしましたら、些とは所夫のお目も覺めますでございませう。」

「成程の。」と後室は、快げに點首いて「それも面白からうの。」

夫人は、調子に乘ツて、

「幾ら才がはじけて居ると申しましても、尙だ小供でございます。加之に田舍に居ツて大勢の人の中へ出たことがございませぬから、おど〳〵して居るに違がございません。其處へ付入ツて　何か皆樣の物笑の種になるやうなことを爲出來させるのでございます。」

「それも惡い工夫ではないが、若も其樣な機が無かツたら何んにもならんの。惡く間違ツたことを爲ますとの、反ツて、皆樣に此方の腹を見られて了ひますぢや。それよりは、子爵に能く謂ふての、園遊會を癈めさせるが一の手ぢや。」

「それは、阿母樣、到底出來ぬ相談と申すものでございます。所夫の意氣込と申しましたら、それは大變なものでございます。私、今朝も、少し不服を申しますと、直にお撲ちになるやうな譯でございます。」

「一體、子爵は、近頃何うか致して居るのでは無いかの。逆上せやうが、酷い。」

「それは、所夫だけには、立派に嗣子がお出來になツたのでございますから、お悅しいのでございませう。」

「嗣子とは誰をの、誰を嗣子に爲るのぢやな。」

「那の光をでございます。」

「光をの。」と後室は、奇しく眼を光らせて、「海鹿の家は、子爵に勝手にばかり出來ますまい。」

「それでも所夫は、然うと定めてお在遊ばすのでございます。」

「なりませぬ。」と後室は、頭を振ツて「此の私が承知しませぬ。子爵は尙だ其樣なことを思ふて、居るのかの。私が、那程に可けぬと謂ふて居るのに、心得違の人ぢや。」

「それは何んでございます。其樣なお考でお在で遊ばすものですから、光の爲に、園遊會まで開いて、那女の體の光るやうになされるのでございます。所詮今度の園遊會は、大勢のお客樣の前で、那女を嗣子にするといふ披露を遊ばすのでございます。」

「馬鹿々々しい！　大枚のお金を遣ふての、いや、こりや、また、何んぢや。近いうちに、親族會議を開いて、何うでも那の光奴を追てくツて了はなければなりませんぞ。」

「何うか、其樣なことにでも爲て戴きませんと、私の立つ瀨がございませぬ。子の無いのが女の何よりの貧乏とか申しまするが………幾ら私が眼を瞑ツてゐやうと思ひましても、那の光では、到底私の子にして見て行かれませぬ。」

「然うぢやとも！　こりや其方の謂はれるが道理ぢや。眞ンに子爵の馬鹿には、私も此の年になツて胸を痛めますわい。何時も其方と話してゐる通の、當家はの、數馬を順養子にして、其方のお實家から、那の何んとやら謂ふたの。」

「環でございますか。」

「然う………環さん、環さん。那のお子を連れて來て、數馬に娶はせたら、それで何方も此方も納まツての、家庭が圓滿く行くといふものぢや。環さんといふたら、其方の實の姪………數馬はと謂ふたら、子爵が實の弟………のう。何方にも不服のあらう筈がありませぬぢや。」

「左樣でございますとも！　私も然う致したいと存じて居るのでございますが、したが、何んだと申しまする、數馬さんは、環をお嫌になツて在ツしやるさうでございます。」

「數馬が、環さんを嫌？………　これは、またの！」

これは、後室には、初耳であツたものと見えて、胸を突反らして驚かれるのであツた。

春曙　耕南

遠近の山は長閑にかすめとも　はたなほ寒しあけほのゝそら

早春途上　黄雨

東雲のそらはかすみて長閑けくも　はるまた寒し雁のひとつら

同　露月

あさほらけ春なほ寒き大空に　霞ぬいゆく雁の一とつら

同　東村

ふしぎにも春なほ寒し東雲の　霞のあなた雁なきわたる

春の月　梅の里人

櫻映る水にも影を宿すなり　はる雨晴れし天の月の輪

雪と咲く梅が下へに姫一人　影もにほひて月かすむなり

花の里かすみと共に暮れ行けは　山より上る春の夜の月

廣告

法律事務所の開始

生儀前に判事幷に地方法院長等の官職に歷任し及び辯護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辯護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依賴に應ず

營口永世街金城館南隣り

從七位勳六等　小林一生

小林法律事務所

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絕對に謝絕す

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す

▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄

▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　矯

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す

◎本院齒科開設

齒科醫　兒島市郎

本月十五日より開設す

森病院

爲替券盜難廣告

弊號（聚豐隆）は先に遼陽東昇廣より爲替券廣元號聚豐隆名下營平銀千七拾兩營口永遠興の支拂に係る一通及全地天和福より字字百六十二號聚豐隆名下營平銀五百三十五兩營口廣順棧の支拂に係る一通又弊號（廣興義）は遼陽公立公司公字二號泰峯鎭名下營平銀壹千七拾兩營口匯源の支拂に係る一通を受買け以上三通を遼陽より瀛車に乘じ牛家屯に達せんとする翌午前一時頃車內に於て盜賊に刧かされ前記三通の爲替券及所持金を奪取せらる依て前記三通の爲替券は何人の手に渡るとも全然無効に付茲に紙上を以て特に廣告候也

月　日

遼陽　廣興義　聚豐隆

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豐三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラル丶事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ內外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラル丶諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム

四月十二日

營口有志者白

一料理用白味噌、赤味噌、

一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、等鰹節

一罐詰類、

一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、

一清酒澤龜特約、並に瓶詰、

一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也

東營口永世街第廿八號

雜貨商　大原洋行

弊一座儀三月九日より開場可仕筈に御座候處道具廻り等不行の爲め日々に延引仕大方樣の折角の御厚志に反し洵に申譯無之就ては愈々開場當日には座員一同御詫旁市中廻り可仕候間該日を初日と思召し續々御來覽の榮を給はらん事を偏に願上候

岡本千代花一座

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南憲第三十六號

北斗洋行質屋部

M. Iizuka,

Contractor,

Architect and Civil Eginneer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

廣告

●金露印日本酒　七百樽

右來る四月廿一日正午茂生洋行（イー、エー、サーヂエント會社）構內に於て競賣に附し可申候

競賣人　エー、コツク

大阪商船會社荷客取扱所　外國船舶代理店荷倩仲立　輸出入稅關手續

瀛船出入案內

湖洲丸　門司直行　十四日出帆

日勝丸　門司神戶行　十五日出帆

能登丸　十九日入港

今回內地去る十日出帆の處航丸を以て韓國經由牛莊定期航路開始候に付御案內申上候（神戶、門司、仁川、大連、牛莊）

解船人夫運搬請負　諸品委托賣買

水陸輸送貨物仲次所　倉庫業

西北街　徳重洋行

東營口郵便局東隣　島田洋服店

新民屯停車場前　同支店

當地唯一の温泉

春暖の好季節に入りながら殺風景なる當地こては御慰みとなるへきものも無之四季變りなき御遊ひに飽かせられ候事と奉存候就ては弊館聊か御客樣の御愛顧に酬ひんと存し冬氣中自家設備の温泉に改良を施し又純潔無邪氣なる侍女を新に呼寄料理も和洋何れこも御輕便に專ら御清遊を旨とし恰も内地の温泉場に在らせらる丶と同樣の快感を與へ度希望に御座候間何卒續々御來遊の程伏而奉願上候

月　日　營口　一力

各位

御手輕料理

一釜飯御一人前　五十錢より

一卷壽し　一本　十五錢より

一湯豆腐　一壺　廿五錢より

一東京壽し　一人前　卅五錢より

右之外御誂に應す

月　日

營口元神廟街二〇九號

翁亭

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館　東京樓

店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

御席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需に應ず

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔　接待優遇懇切

開放全時一開業

奉天小西門外大街路北

會席料理　營口警務課前南に入る　三日月

御料理

滿月　平の町（電一六二）

滿月支店　平の町（元都橋跡）

店主　吉本[illegible]

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を拔き藝妓仲居も弊店付として內地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の廚士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈々本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程備に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　第一　營口ホテル

料理　第一樓（電話八四）

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町

日本館（電話百三十）

各位樣

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着
廉價にて販賣致候間多少に拘はらず
御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候

ブッシ商會

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽**毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告**

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元宍原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)
井上公司

醇良自釀清酒

エジプト煙草
インペリヤ(金口)
エキスタラフワイン(キルクロ)
右特約仕代價者精々安價にて賣出し候間多少に不拘御用命被下度候

牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

新春夏柄反物
新柄小間物
婦人帽子襯衣
新荷着

最新雜貨
附屬品付 朧月堂羊羹
風月堂香煎
鹽湯利用各種

(元神廟街雜貨商)
天盟洋行
(電話三百七十番)

銘酒 **白鶴**
諸雜貨

今般**新荷着**仕候に付ては**卸小賣**とも是迄の賣直段より**壹割引**
酒及米、罐詰類は五步引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街
井門洋行
遼陽西門外
仝支店

大日本東京
本舖 山崎帝國堂藥房處修

腦丸
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也
腦病の名藥にして他に類なし

天授
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也
たんせき、ねつさましの一切の妙藥

大淸國 營口大街(永世街二本町)
藥司洋行 淺野爲三郎
福壽堂 藥劑士 大葯房
有名靈藥 醫械材料 總發賣處
總批發處

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉(電話一三六番)

發賣 材木 標子 木板

塩川商會

外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

遼陽小西門內
鹽川商會 ●建築

日本有名秘藥
物賃特賣廣告

右今般以上の各藥品及日本一般の有名各賣藥等物價は何卒御用命の程奉希候
(營口大阪各商春賣捌所其他御座候)

回天堂大木洋藥房(電話百九十番)
三警務課司法部大木洋行(東陽)

●**化名本帝國大日本藥劑方**
●**御賣藥卸小賣**
右內地と同樣の廉價を以て御取扱可仕候

回天堂大木洋藥房(電話百九十番) 敬白

大連市信濃町卅九號地
旅人宿 東館
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

官製口付莨、文房具
和洋酒類 **白米**
罐詰、菓子
藥品、雜貨 **卸商**
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣

營口西北街
豐生洋行
(電話十三番)

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類 **卸小賣**
陶器類
食料品類
其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

胃腸病新藥

消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見

滿州特約一手販賣
東瀛大藥房 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症倂治脾胃疼痛過用米麵積滯腹泻脚軟心驚婦人懷孕嘔吐之症熱病稍愈腸胃未平於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓效
發明者日本醫學得業士
矢島猴太郎 謹白

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

和洋雜貨及紙類
大販賣
奉天城內鐘樓南大路西
千賀洋行(電號)

天津至北京 上一二、〇〇 下五、三〇
山海關至北京 上八、〇〇 下六、四五
溝邦子至新民 上三、〇〇 下六、五七

宮門抄

十七日
刑部 都察院 大理寺 廂紅旗値日無引 見 新授倉塲侍郎吳重熹到京請 安 出使大臣張德彝到京請 安 玉璋因伊孫以侍衛用謝 恩 定成良揆由 東西陵回京請 安 道府丁學恭等謝 恩 恩潤來秀預備 召見
召見軍機 吳重熹 恩潤 來秀
陸寶忠遞封奏一件
提督衙門奏左翼翼尉烏珍等帶領官兵在京東長營等處拿獲鎔化大錢改鑄私錢並用機器私作銅圓銅圓人犯胡立祥即胡四秦得斌白世奎吉升阿即大吉子姚二即二有子姚鳳林姚大即大有子陳益三張升玉景白氏等十名口請旨交刑部又據奏北營叅將王漢池遊擊王雲龍督飭守備王得祿候補守備胡秉張景和把總高鍾山外委王聯輝候補把總崔樸郭清張得寬候補外委邢永帶兵會同昌平州知州史廷華署延慶州知州海潤寶 縣知縣廖毓英及紳董等購覓眼線在沙河鎮北王家莊地方拿獲結夥執持洋鎗搶刦盜犯馮三即馮有祥一名又據右營叅將趙春霖等拿護在甄家坟地方結夥持械毆傷事主搶刦行人盜犯小郭即郭庫爾等二名均請交刑部

論說

原吏篇

人生而有群。群分而有長。長也者長其羣也。其才大。其德優。其功茂。足以了其群之責者。則相與長之。長民之謂吏。更有才大德優功茂者。爲長民者之長也。長長之謂君。君長一國。吏長一部。要之皆長民者也。自君不能親撫其民。則屬之吏。固曰以爲民長也。吏受君命。而撫其民。亦曰吾爲民長也。繹長民之義。思長民之責。則吏也者。豈惟是坐官衙。饜粱肉。一無所事事。而偃然居民之上。以自尊大也哉。民有耳而不聰。有目而不明。則吏爲教之。有手而不能運。有足而不能行。則吏爲導之。吏也者。民之耳目手足也。利何以興。弊何以去。何以正其德。何以厚其生。一民失其養。惟吏飢之。一民失其敎。惟吏愚之。蓋民之以其耳目手足。寄之於吏。而吏不爲之立學校。開風化。是錮蔽其耳目也。不爲之濬利源。督耕作。是桎梏其手足也。如是則焉用此行尸坐肉。群奉之以父母之名耶。夫吏所以長民也。其才足以理民。其德足以化民。其功足以被於民。則爲民上。反是則爲民賊。吾不解之爲民賊者何多也。其弊大抵皆誤於以臣之職。爲吏之事。不知夫臣者。屈於人者也。對君之詞也。吏者治人者也。對民而言也。既名爲治民。則當養民教民。以民之事爲事。不當爲狼爲虎。以民爲犬羊而搏噬之。朘其膏。吸其脂。强取於民。以奉其上。而自取媚也。損下益上。以媚其君。此一姓之臣。一人之奴隸。而非萬民之長吏也。使天下之爲吏者。皆知其爲萬民之長吏。則當爲民治其事。而不徒損下益上。百計以取媚於君。庶乎盡長民之責。而得與人君分長斯民之義也。能盡長民之責則無論爲能吏。爲廉吏。爲循吏。而皆足以利民。不知長民之義。則無論爲貪吏。爲酷吏。爲俗吏。而皆足以病民。病民者。民之賊也。民之賊。亦非君之利也。人君欲撫有其民。而不能察其吏之賢否。以爲黜陟。則民不可得一日而安。欲吏以安民爲事。而不厚予之以祿與權。俾無內顧之憂。與一切拘牽之罰。則吏亦不可得而淸。夫爲吏者。固當顧名思義爲天下興利除弊。以立度外之功名。斯不愧治民之責也。獨奈何爲人君者。使吏牧民。輙困乏其身。束縛之。而使不得用其法外之意。而但以損下益上。爲忠於一人也。烏乎其亦不思之甚也。

北京電報

●戶部聘美員爲顧問官 刻聞戶部爲改革幣制特聘美國順若博士爲顧問官云

●法使考察鐵路 駐京法國公使定於西五月前往雲南安徽等處考察其鐵路情形云

●唐星使因病緩議 刻下唐星使因病不出故中俄交涉事宜暫從緩議云

●滿洲商埠開放有期 據確聞云安東縣於西五月奉天府於西六月一律開放爲自由通商之埠云

(以上西四月十三日發)

東京電報

●長岡子爵捐館 子爵長岡護美君因病不起於西四月八日溘然捐館按子爵與故近衞公並稱華胄之雙絕最留心於淸國風氣之開發設立東亞同文會子爵最有力焉而今也云亡殊爲可悼聞其葬儀已定於四月十八日執行想景仰其平生德徽者屆期當爭先往弔矣(西四月十二日發)

●日皇電慰意皇 此次在意國撤斯撤烏斯山俄然噴火降熱灰鎔石災害及數十里埋沒房屋殺傷人畜無算日皇憫其慘狀即電致意皇慰問其无妄之菑辭意殊懇到云

●統監擬參列大操 伊藤統監爲參列凱旋陸軍大操不日啓程回國云

●俄使捧呈信任狀之期 新任駐日俄公使巴君已定於西四月十八日捧呈信任狀晉謁 日皇云

●萩原總領事之赴任 駐奉天萩原總領事於西四月十六日啓程到北京於西五月中旬前往奉大云

●戰功賞賜爵位人員 日皇因日俄戰役之功賞賜文武大員新爵位計新得賞者共五十餘名云

●鄂督歡迎日使 日前駐京日公使內田君前往漢口會見張督張督相待最優交形欵洽云

(以上西四月十三日發)

中外要聞

●中俄協商最近情形 中俄專約現在會議甚稀而會議時又甚爲秘密故外間咸不能得眞實消息茲由本社特派員報告確實消息云近數次兩國會議情形並無進步蓋俄使對於西北各處要索之事始終未曾退讓一步經唐侍郎屢次磋議而俄使之意則謂淸國旣允日本得有奉天之利益則我俄國自未能嚮隅也云云

●議嚴定受賄條律 近日刑部各堂憲議商以現在停止刑訊監獄改良並設立教養局習藝所是感動國民之熱心啓發國民之思想上下官民當如何仰體皇恩奉公守法乃近來凡承審官員仍有情託受賄等事是此習已相沿成風致成牢不可破矣然非嚴定官員受賄之律不足以警將來擬奏明請旨交修訂法律大臣將此項法律另行詳細訂明以淸弊源而肅官體

●美議員對中國之正論 美國議員普蘭士斯君關於中國事宜於美國議院申明其主見略云中國棉貨日後必當形興旺與美國棉貨並駕齊驅蓋華人於栽種一事推擴其規模秋獲增收可期而待乃將所有增收之棉貨搭輪運赴日本由日人紡織以輸於四方則異日於蘭喀士亞巾場必生一變象亦未可預測也又云外人對付華人手段向來尤多失計蓋若輩不施正義與慈惠或進口粗貨或鴉片煙實忘人群相愛之情唯利是圖而若一旦有事即調遣戰艦遴派兵員百端藉口以期貫其宿望良無謂也然華人近時革故鼎新力圖自强自今以往國勢振刷或恐列國於中國遂失其優勝之利權也

●報効學堂專款 聞黑龍江將軍程軍帥以綏化府民人同知銜附貢生劉振鏞捐銀一萬二千兩文童劉鈞捐銀二千兩作爲學堂經費請奬太優原請同知銜劉振鏞以雙月知府選用文童劉鈞以守備選用戶部議駁仍按照所捐銀兩折合庫平足銀若干將奬銜封
奉天將軍趙軍帥奏有海城縣民人賈樹齡捐入學堂房屋十間銀五百兩請加通判職銜已交部議聞可議准蓋以此請旣遵定章又與捐銀核計有盈無絀也

●學生運動 東淸鐵路學堂俄文學生昨公稟俄國駐京公使璞科弟氏據稱各生願赴吉林黑龍江等省委用等語駐京公使因請監督塔克什訥來館問各生學業如何可否給以執照又懇塔監督語甚阻撓俄公使恐學生屈抑由此散班擬親往該堂考核

白話

萬國演說會會員管君之演說 (續)

第三是要合群 孤木不成林 木皆是細弱的聚成十捆百捆 搭了橋 可以載住千万斤重的大車 外國商務 名爲公司不是幾十万 就是幾百万大財主那能那麼多 好在有集股公司的辦法 吾有一百銀 可以入股一千一万亦可入股 集合大夥兒的力量在一塊 氣魄就大了 中國的輪船招商局 英國的匯豐銀行 不就是合股公司麼 股票的價近來增漲匯豐百元的 前年就值三百多元 公司的好處 是有憑據擺在那兒的

第四是立商會 商會的好處說不盡 就說商人應該知道的事 一個人考較不來 必得大夥齊心努力 設了商會 先查考本埠一年出口貨多少進口貨多少 價錢的漲落怎麼樣 再查查內地的商務各種情形 現在北京設商部 奉天設商務總局 商務總會 海城牛莊亦都設了分會 營口該設總會 願在會諸君 速照瀋陽章程 舉出總理協理商董 稟明商部給予印札 打這兒 中國官商 聯爲一氣 不像先前的隔膜 亦可以伸一伸吾們商人的權力 研究些商務的新理 再者捐稅的事 吾們比外國輕得多 可是商人抱怨 這由于輕重不均勻 有了商會 亦可以考較考較

第五是立漁會 海中物產取用不盡 外國看得極重 說是海權 吾們漁人 是小本營生漁船極小 漁具極壞 大約總在海邊五里以內 大魚是摸不着的 眼看着現現成成的利權 大夥兒不去留心 這亦是狠可惜的事 南方上海已設漁業公司買了極大的輪船 用機器撒網 用電光燈在海裡照着去捉魚 獲利是准穩當的 吾們北方亦該急速操持的

以上演說的都是空話 盼望大夥兒實實在在去做 吾們營口商務 一年比一年興旺 在座的中外商人 都有好處 這就不枉魏牧師合諸公創立這万國演說會的苦衷熱心了 (完)

NEWCHWANG, SATURDAY, APRIL 14, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part XI.)

It was a precious pity that the superb German nerve should have ever flinched under the strain of conspiring events, and that near the eleventh hour, too.

The "N.C.D.N.'s" Peking correspondent says as late as March 20th last: "The German Minister has warned the Wai Wu Pu that China must take steps to prevent missionary troubles which appear likely to break out in Szechuen and Fukien provinces; otherwise the evacuation of Northern China proposed by Germany will not be possible, as the Powers will turn such troubles to account and refuse to withdraw their troops."

Barely two weeks later, the Chefoo Daily News's Peking correspondent writes under date of the 2nd inst.: "Baron von Muum has informed the Peking Government that although the proposal for the withdrawal of the foreign troops from Chihli is opposed by the British, French, and Japanese on the ground that there is still unrest in some parts of China at the present time, yet, as the proposal was suggested by the Kaiser, the German Government will act independently in the matter and withdraw the great majority of her troops from Peipang without waiting for the decision of the three countries named."

Agsin, we find, in the issue of the same paper on the following 10th, another special correspondence from Peking dated the 9th inst., which reads: "From a reliable Chinese official source in Peking, it leaksout that during a meeting of the foreign ministers the other day regarding the withdrawal of troops from Chihli, it was decided that the outposts at Langfang, Lutai, Lunchow, and Chinwangtao be abandoned within the next three months; the soldiers at Tientsin, Tongku, Tongshan, Changli and Shanhaikwan and the legations in Peking to remain as they are until such time as the Powers are satisfied that no disorder is imminent in any part of the Empire. This arrangement does not include the German troops, a large portion of which will embark for Germany about the 20th inst., or earlier, leaving only 700 men in Peking and Tientsin."

The latest Tokyo wires state that, upon the handing over of the Sacred Ancestral Precincts at Mukden into charge of the Tartar-Gen. Chao Erh Sun, H.I.M. the Emperor of China has addressed to H.I.M. Emperor of Japan a telegram of thanks for their preservation by Japanese chivalry, extolling at the same time the strict discipline of the Japanese Army. A reply of courteous acknowledgment has been wired from Tokyo to Peking. H.I.M. the Emperor despatched to the Italian Court on the 12th inst. a telegraphic message of profound condolence for the disastrous volcanic eruption. M. Bakmecheff (?) will be received in audience by H.I.M. the Emperor on the 18th inst. when the Russiau Minister will present his credentials. Admiral Togo has been awarded by the Court the favour of conducting a hare hunt at the Imperial Preserve at Yabuki in Fukushima Prefecture, for 3 days beginning on the 13th. Gossip says that Gen. Kodama who has been just raised to viscount on the merit of his successful administration of Formosa stands a fair chance of being created full count in recognition of his brilliant services during the late war. Maj.-Gen. Sir Y. Fukushima will in all likelihood carry off the coveted honours of the Vice-Chief of the General Staff. H. E. Tang Shao Yi, being laid up with a bad cold, the mortally protracted Conference at Peking is further interfered with. The America-Japanese treaty for protecting copy-rights will be shortly ratified. Dr. Jenks, an American, is talked of being engaged as adviser for the Board of Finance Peking, in the task of re-organizing the fiscal system of China. Antung, at the mouth of the Yalu, will be opened to foreign trade from May, while Mukden is to follow a month later.

Dr. Tazoe wishes us to announce the removal of his office to-day into the house on the bund next on the east to the "Manchuria House," which, happening to be quite full just at present, has no room to accommodate the popular dentist, although comparatively unknown here.

The office hours are from 9 to 12 in the morning and from 1 to 5 in the afternoon, inclusive of Sundays.

市場北三階樓 時計店ノ二階 宮原公司

昨日の氣溫 最高溫度六十一度五 最低溫度三十四度九 昨年との 最高五度〇 低六度三

營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 太和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 仕松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一二七号 上松榮治郎

奉天旅館料理屋案内

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一等の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天城内鐘樓南大街

旅館 奉天館 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關七街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 日の出樓 溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ 奉天小西門外（元紅葉館跡） 樓主 入瀬七造

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南 館主 入江眞男（電話　號）（電話十七號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井ユノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節は極めて御便宜に御取扱可申上候 奉天十間房第十五號 高砂館本店

旅館御料理 奉高館 高砂館支店 奉天城外廿四號 店主 宇木智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街 主任 藤島初野（電話　號）

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉强館 奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

會席御料理 金城館

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一海關手續 事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大清通運公司營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形 西海洋服店 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

NEW ARRIVAL.!
Nicely decorated China-ware, Doll pin cushious, Looking Glasses, Artistic paper lanterns etc. S. KATO & Co.

新荷着
寫眞ブック、寫生帖、手帳、不易糊、久留米絣、信玄袋、時計袋、ハンカチーフ、トランプ、歌かるた、碁器、將棊、窓掛レース、提灯、有明行燈、蓄音器、ステッキ、下駄、喫壺、理髪道具、京都松風焼歐州風陶器、舶來ニッケル台鏡、化粧品其他味淋、鑵詰等色々參りました
營口 加藤洋行支店（電話八十番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前 飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

新荷着
▲板材木▲木炭 ▲牛石灰▲竹 ▲亞鉛板▲洋釘 ▲日本米▲疊
喜久洋行 營口永世街八十號（電話百五十二番）

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

西洋家具製造販賣 營口青堆子 清水寧木局（電話九十四番）

美味安價西洋料理 牛莊亭

爲替相場（四月十三日）
日本向 九十九圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一紙類
一全狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一書簡 百枚 十三錢以上十八錢
三枚組 室内装飾品及寢具 矢野洋行 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 一薄様 一麻緞通 二圓六十錢以上三圓 十枚 八圓 一疊敷 三圓

MANCHURIA DAILY REPORT. Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ケ月前金 銀八十仙 半ケ年前金 四弗八十仙 一ケ年前金 銀九弗六十仙